

まんざい

旭市立萬歳小学校
平成28年7月20日
No.4

《学校教育目標》
つよく おおきく たくましく
ともに高め合う
萬歳っ子の 育成

真夏日を記録する日もだんだん多くなり、いよいよ夏真っ盛り的时候了になってきました。21日(木)からは、長い夏休みに入ります。

4月には新1年生が入学して1年生を迎える会を実施し、5月には風のない穏やかな日に運動会を実施、6月にはプール開き、そして水泳の学習を始めた途端、1学期末の授業参観となってしまったように思います。本当に月日が経つのは早いものだと、年齢を重ねるほどその思いが強くなってきました。

1年生は、この間、学校生活のルールを覚え、ひらがなの読み書きや計算のやり方を理解しました。この4か月は、1年生にとって、大きな飛躍の日々だったと思います。

地域・保護者の皆様には、さまざまな行事等に対しましてご協力いただきありがとうございます。



【校長室より】 頑張ることを大切にする夏に

いよいよ夏休みが始まります。42日間の休みを有意義に過ごし、心身ともに2学期からの力を蓄える期間にしてほしいと思います。

1学期の終業式には、各担任より子どもたちに「あゆみ」が渡されます。学校でも家庭でも、日頃から良かったところは褒め、頑張りたいところは励まし、そして、一人一人の努力の跡は認め、伝えたいと思います。

『頑張れ!』と言うと、子どもはしんどくなるのでしょうか?と聞かれることもありますが、ただ「頑張れ」というだけで、大人が頑張る姿を認め(認めるには、子どもをよく見て理解する姿勢が求められますが)、正しく評価(褒める等)しないから、虚しくなるのではないかと考えます。

学習の目標には「2桁の足し算ができる」等のように、自己評価が容易な達成目標的なものと、「字をもっと丁寧に書きましょう」等に代表される、努力の跡が周りに認められて初めて成果を実感できる向上目標的なものがあります。向上目標的なものは、評価をして返さないと伝わらない側面があります。

学校からお渡しする「あゆみ」などをもとに、様々な出来事を振り返り、ご家庭でも1学期を締めくくって頂けたら幸いです。

また、夏休みは「新たな頑張りに」にチャレンジする絶好の機会です。

『練習量が足りなかったことは、数値目標を決めて実力をつけてやろう』

『読書や水泳、自由研究等に、じっくりと取り組んでみよう』等々

計画と見通しを立て、是非「頑張ることを大切にする夏に」してほしいと願っています。

(校長:木村 仁)

P T A 教育講演会

7月4日(月)に授業参観、PTA教育講演会・ミニ集会、学級懇談が開催されました。このPTA主催の教育講演会はPTA成人教育部が中心となって企画・運営してくれました。

「夏休み中の事件・事故防止について」旭警察署 方才駐在所 星野 幸利氏にお話をいただきました。旭市でも自動車盗が増加しているこ



とから、車上ねらい被害の防止のために施錠を確実にすることや車から離れる前に車内の確認をして貴重品を車内に残さないようにとのお話がありました。

今年はこの講話を受けて各地区ごとに分かれて地区の危険個所を確認していただきました。その中で出されていたことは、狭い道が多い割には交通量が多いこと、坂道での自転車の乗り方、草むらや暗い人通りの少ないところでの不審者への用心、用水路や貯水池での水の事故、野犬の出没などの問題点が出されました。積極的にご意見を出していただき、活発な話し合いになったことをうれしく思いました。

機会があったらまた話題を換えて意見交換をしても、有意義な時間を過ごすことができると思いました。



心の豊かさ、たくましさ

本校には、心力向上推進委員会（もちろん体力や知力にかかわる委員会もあります）という組織があります。学校教育目標にあるとおり子ども達がたくましく育っていけるよう企画、支援等をする委員会です。心をたくましくするための具体的な取組として、以下の活動を行っています。

- 自由遊びの時間の確保
- 他学年との交流（異学年交流）



6年生による1年生への読み聞かせ



6年生と1年生の水泳学習

- 縦割り活動
 - ・清掃
 - ・集団登下校
 - ・1年と6年の交流
- 授業交流
 - ・近接学年での体育
 - ・1・2年での生活科
- 児童会活動
 - ・アルミ缶・ペットボトルキャップ回収
 - ・あいさつ運動
 - ・親切運動
- いのちを大切にす
るキャンペーン
 - ・集会活動など
- 教育相談週間（年2回実施）
 - ・いじめアンケート
 - ・教育相談（全員）
- 道徳教育の推進
 - ・道徳授業の公開など



児童会本部役員による挨拶運動



心を豊かにたくましくする活動は、もちろんこれだけではありません。生きている中での全ての活動がわれわれの心を育ててくれるものだと思います。しかしながら、できれば体験しない方がよいこともあります。

豊かな人間性は、美しいものや自然とのかかわりや望ましい人間関係の中から育っていくものだと思います。

学校の授業における学びも大切ですが、夏休みなどの長期休業中の体験活動の中にも人間性を豊かにする素地があると思います。

7月7日の七夕を前にして溝原の大湊さんが笹竹を持ってきてくださいました。飾り付けられた七夕の願いごとを一読して印象に残った願いごとがいくつかありました。特に印象に残っているものを掲載いたします。

「おかあさん、おとうさん、へんこばあちゃんが長生きしますように」
「みんながながいきしますように」
「もっともっとやさしくなれますように」
「かぞくやともだちにやさしくなれますように」
など、周囲を思いやる内容が見られたことにちよっと心を動かされました。
萬歳小の子ども達は、心も育っていることを再確認することができました。

「人権教室」を開催しました

7月4日（月）の授業参観の際、4年生は人権教室を開催しました。人権教室は、法務省が「いじめ等の人権問題について考える機会を作ることによって、国民が相手への思いやりの心や生命の尊さを体得すること等を目的とした啓発活動であり、全国の人権擁護委員が中心となって実施している」事業です。



今回は、自分の名前の由来を親から聞いてきて親の願い等について考えたり自分の名前に関心や誇りをもつ、といったねらいで授業が進められました。一人一人がかけがえのない大切な存在であることを考えるよいきっかけとなったと思います。また、こうした外部講師を招いての授業は、担任が行う授業と同じような話や内容であってもどこかにその道の奥深さや経験が出てくるもので、子ども達の心によく伝わったのではないかと思います。これからも積極的に外部講師による授業を推進していきたいと考えております。

あともがき

1学期、知徳体とバランス良く取り組んできたつもりですが、教育の成果がでるまでには時間がかかることも多く、目にみえる成果が出ていない面も多々あるかとは思っています。学校だよりの外にもホームページで学校行事等の紹介をしています。1学期は44回更新（7/12 現在）しておりますのでご覧ください。1学期のご協力に感謝申し上げます。

2学期もよろしく願いいたします。